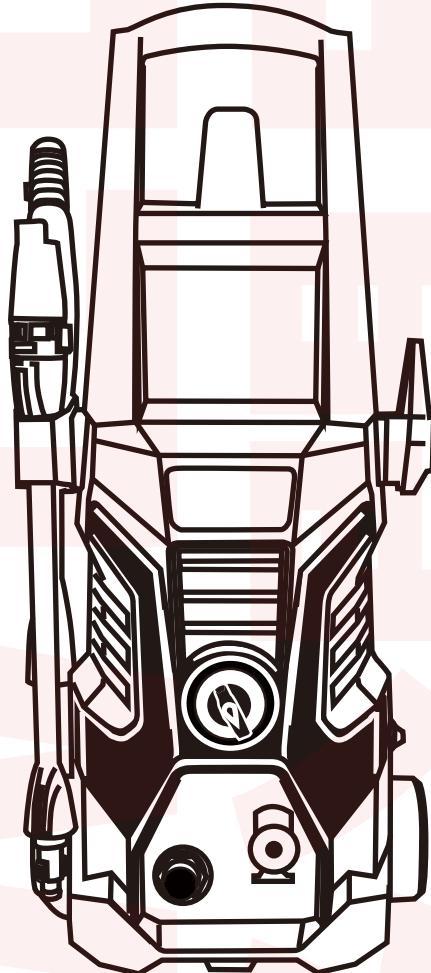


型番：THKBCO1500

パイプ内も 高圧洗浄機 洗浄できる

取り扱い説明書

Version 1.0. y



保証期間： 12ヶ月

※納品書・レシート等が保証書の代わりとなります。

- 各部名称・付属品
- ご使用時の注意点
- 本体の組み立て
- トリガーガンの使い方
- ボトルの使い方
- 配管洗浄ホースの使い方
- 製品仕様
- サポートのご案内

P03

P04

P11

P12

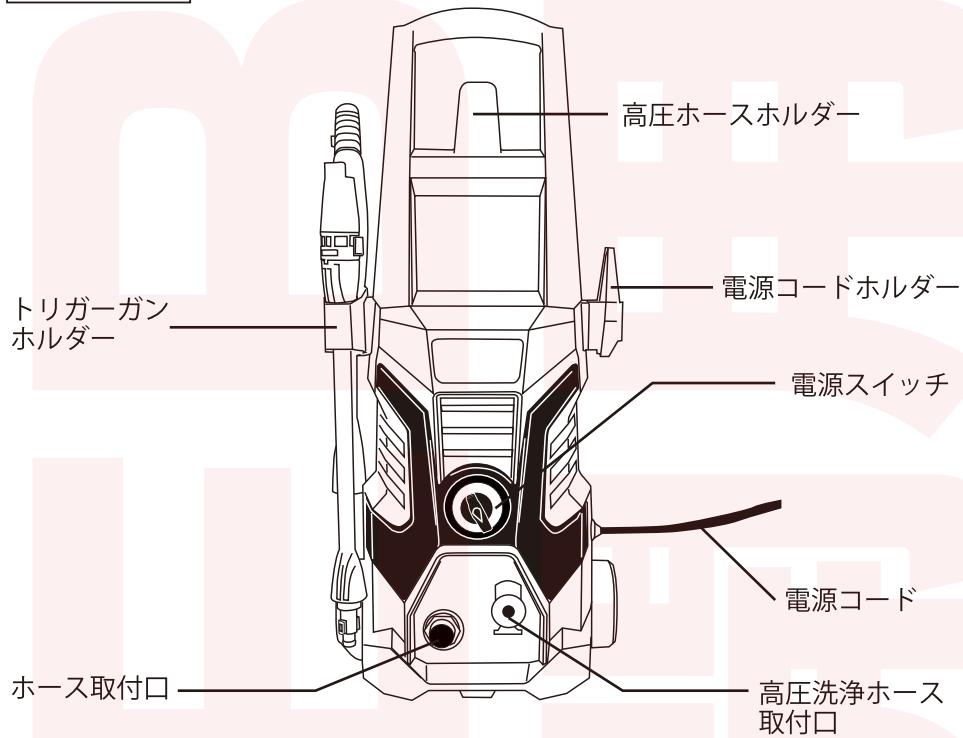
P16

P17

P18

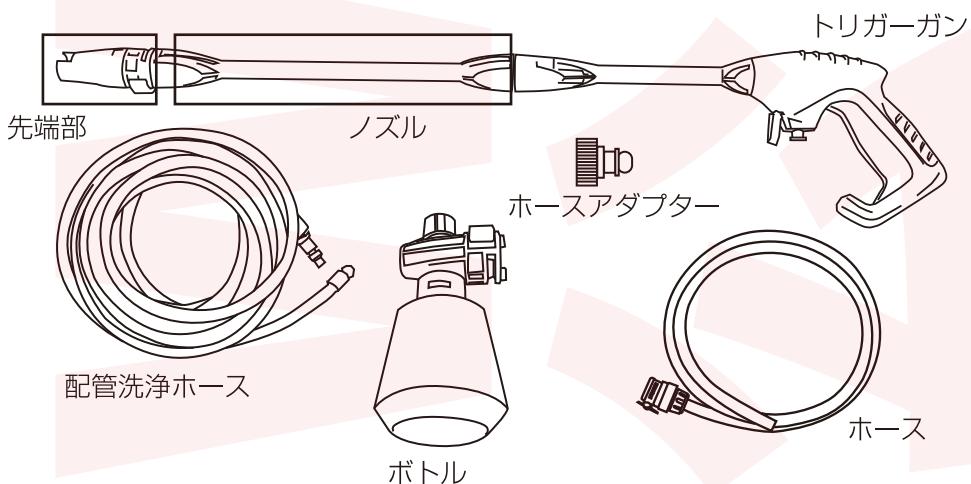
P18

各部名称



付属品

本体、ホース、ホースアダプター、配管洗浄ホース、ボトル、トリガーガン（先端、ノズル、トリガーガン本体）



ご使用時の注意点

●ご使用の前に必ずお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定されている内容」を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されている内容」を示しています。

ご使用時の注意点



ご使用時の警告

使用してはいけないもの

火災・爆発・疾患・怪我の原因となります

- 火気のあるものを洗浄しないこと
- 高温の粉塵・塊に水をかけないこと
- 通電状態の電気製品を洗浄しないこと
- 人体や動植物に向けて使用しないこと

正しく使用すること

火災・爆発・疾患・怪我の原因となります

- 危険物のある場所で使用しないこと
- 引火性ガスの発生する場所で使用しないこと
- 危険物を自吸しないこと
- 危険物を洗浄剤の代わりに使用しないこと
- 高温・多湿の場所で使用しないこと
- 体調や気分のすぐれない方、子供もしくは経験や知識がない方は使用しないこと
- 子供が本機で遊ばないように指導してください
- 衣類または履物類を洗浄するために、自分自身、他人に向けて使用しないこと
- 本機を長時間使用した場合、振動により手に循環器の問題が発生する場合があります。いろいろな要因により発生するため、問題とならない使用時間を一般的に特定することはできません。長時間の使用により指のしびれ、指先の冷えを感じた場合は医師に相談して下さい。

異常・故障時は直ちに使用を中止すること

発熱・発火・感電・怪我の原因となります

してはいけないこと（禁止）

- 改造禁止
- 純正部品以外使用禁止
- 機械の性能や機能に適さない部品を使用しないでください

必ず実行してほしいこと

- 以下のような場合は直ちに使用を中止してください
 - ・本体が割れたり、ひびが入っている場合
 - ・電源コードを触ると動いたり停止したりする場合
 - ・煙が出た場合
 - ・異臭がした場合
 - ・本体が異常に熱い場合
- 弊社サポートセンターまで依頼すること
- ・修理部品は一切供給しておりません。万が一人で修理を行って発生した不具合・事故に関しては一切責任を負いません。



電気に関する警告

電源プラグやコードは正しく使用すること

火災・感電・ショートの原因となります

してはいけないこと（禁止）

- 電源プラグやコードを傷つけたり、加工したりしないこと
- 電源プラグやコードを無理に曲げたり、引っ張ったり、潰したりしないこと
- 電源プラグやコードが変形している場合は使用しないこと
- ゆるみやがたつきのあるコンセントは使用しないこと
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しはしないこと
- 電源プラグに水をかけないこと
- 本体に水をかけないこと

必ず実行してほしいこと

- 交流 100V 定格 15A のコンセントを単独で使用すること
- 漏電ブレーカーは 30mA 以下、30msec 以下をおすすめいたします
- 電源コードは完全に伸ばして使用すること
- 電源プラグは根本まで確実に差し込むこと
- 電源プラグの埃などを定期的に取り除くこと
- 電源プラグを抜くときはコードを引っ張らず電源プラグ本体を持って抜くこと
- 延長コードは定格 15A の規格品を使用すること
- 延長コードが規格外の場合、感電や怪我の原因になります
- 延長コードは屋外用を使用すること
- 電源コードと延長コードの接続部位を水たまりや地面に近づけないこと
- 延長コードは最長 10m、プラグ及びソケットが防水仕様のものを使用すること
- ドラム型延長コードを使用する場合は全て引き出して使用すること
- ドラムリールを使用する際は、プラグ差し込み部位は地面より 6cm 以上の高さが必要です
- 規格外の延長コードを使用した場合本体が壊れます
- 電源コードが傷ついたり、破れたりした場合修理を依頼してください

電源

機械に不具合が生じますので、延長コードは、15A 仕様の規格品を使用し、10m 以上延長しないでください。コードリールは、コードを完全に伸ばした状態で 10m までのものを使用してください。

*コードリールが発熱する恐れがあります。

ご使用時の注意点



洗浄は自己責任で行うこと

万が一洗浄対象物に損傷、破損、変色などが生じた場合、もしくは正しく操作せずに怪我を負った場合、弊社では一切の責任を負いません。



ご使用時の注意

取扱説明書に従って正しく使用すること

本体の変形・洗浄面の破損、ショート、水漏れや思わぬ事故、怪我の原因となります

- 定格使用時間（1 時間）以上使用しないこと
- 体調がすぐれない場合は作業を行わないこと
- 本体の吸排気口を塞いだりシートなどで覆った状態で使用しないこと
- 本体を倒して使用しないこと
- 本体に乗らないこと
- 本体を高い場所に置いて使用しないこと
- 無理な姿勢で作業しないこと
- 本体に過度の衝撃を与えないこと
- スイッチを切らずに洗浄場所から離れないこと
- テレビなどの受信装置の傍で使用しないこと
- 60°C以上の水を供給しないこと
- 酸性洗浄剤、アルカリ性洗浄剤、農薬、消毒液などは使用しないこと
- 火気に近づけないこと

ノズル

- 機械の性能に適合したノズルを使用すること
- 停止して同じ部分を洗浄しないこと
- 地面に置かないこと（ノズル詰まりの原因になります）
- 他機種のノズルを使用しないこと
- タイヤやタイヤバルブを洗浄する場合は 30cm 以上の距離を保つこと

屋内で使用する場合の注意点

水漏れや破損の原因となります

- 高压洗浄機は水を使用します。水が漏れても大丈夫な環境（排水設備のあるベランダ）でご使用ください。
- 高压ホースを屋内で使用する場合は、無理に引っ張ったりしないでください。壁紙や床などが傷つく事があります。
- 水道栓がない場合は、バケツに水をいれるなどのため水をご使用下さい。

洗浄剤の注意点

洗浄剤が目や粘膜に付着した場合や洗浄剤を飲みこんでしまった場合は、洗浄剤ラベルに記載の応急処置に従ってください。症状の見られる時など必要に応じて専門医（眼科医、皮膚科医、内科医）の診察を受けて下さい。

取扱説明書に従って正しく使用すること

本体の変形・洗浄面の破損、ショート、水漏れや思わぬ事故、怪我の原因となります

取扱い方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意して慎重に作業すること
常に足元をしっかりとさせてバランスを保つようにすること
トリガーガンを握り水を出す時に反発力や回転力があります。しっかりとトリガーガンを持って操作周囲の状況に注意して作業を行うこと
使用中に不快感を感じた場合は使用を中止すること
使用時間以外は電源プラグを抜くこと
5分以上停止させる場合はスイッチを切ること
本体から離れる際はスイッチを切り電源プラグを抜くこと
同梱の先端ノズルを使用すること
洗浄前に事前にテスト洗浄を行うこと
洗浄剤を誤って飲み込んだ場合は速やかに専門医の診察を受けること
洗浄対象物に適した距離で洗浄を行うこと
ため水を吸い上げて使用する場合はホースを使用すること
本体に接続する水道ホースの長さは3m以上であること
本体に接続する水道ホースが長すぎる場合は適切な長さにすること
水道ホースは耐圧であること
作業を中断、終了する場合は必ずトリガーガンをロックすること
アクセサリーの交換時はトリガーガンをロックすること
凍結しない室内に保管すること
本機を通った水を飲料水として使用しないこと

汚染された可能性のある場所を洗浄する場合はマスクなど適切な防護服を身に着けること

給水本管に接続された機器や蛇口に本機を接続しないこと

ご使用時の注意点

高圧ホースの取り扱いは注意すること

本体の損傷、水漏れの原因となります

してはいけないこと（禁止）

- 高圧ホースを折らないこと
- 高圧ホースを無理に引っ張らないこと
- 高圧ホースに異常（深い傷や折れ曲がりなど）がある場合は使用しないこと

必ず実行してほしいこと

- 作業を行う前に高圧ホースをまっすぐに伸ばして使用すること
- 純正高圧ホースを利用すること
- 高圧ホースと本体を接続する際は、高圧ホースをまっすぐ奥まで差し込んだ後、
高圧ホースを手で引っ張り抜けないことを確認すること
- 摩擦の強い床面で使用する場合は高圧ホースをゆっくりと動かすこと
- コンクリートの打ちっ放しや砂利などを敷き詰めた路面（凸凹の床面）で使用す
る場合は高圧ホースをゆっくり動かすこと
- ブロック、レンガ、塀の角で高圧ホースを傷つけないように注意すること
- 本体または高圧ホースが異常に振動していると感じた場合は使用を中止しサポー
トセンターまで連絡すること



機械の凍結に注意すること

機械が凍結すると、破損する恐れがあります。凍結の恐れがある場合は、下記注意事項を参照してください。

長期または冬季間の保管時の注意事項

本体の損傷の原因となります

凍結しない室内に保管してください

手順に従ってポンプの残水を抜いてから保管してください。

排水が不完全な場合、ポンプが凍結します。

万が一ポンプが凍結した場合は、スイッチを入れずに弊社にご連絡ください。

凍結した状態でスイッチを入れるとモーター、ポンプが壊れます。

埃がかからない場所に保管してください。

ポンプ内部にゴミ（粉塵など）が入ると圧力が上がらなくなります。

以下の手順でポンプの残水を抜き保管してください。

- ①本体のスイッチを切って水道管を閉めてください。
- ②トリガーガンのトリガーを握り、ポンプの残留圧力を抜いてください。
- ③水道ホースを本体から取り外してください。（ため水利用の場合も同様です）
- ④トリガーガンから先端ノズルを取り外してください。
- ⑤スイッチを入れ、トリガーガンのトリガーを再度握り（約10秒）ポンプの残水を抜いてください。
- ⑥スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。
- ⑦トリガーガンから高圧洗浄ホースを取り外してください。
- ⑧高圧洗浄ホースの中の水を排出しながら巻き取ってください。
- ⑨本体・付属品を凍結しない、埃がかからない場所に保管してください。

次回使用時スイッチを入れる前に必ず以下の作業を行って下さい。

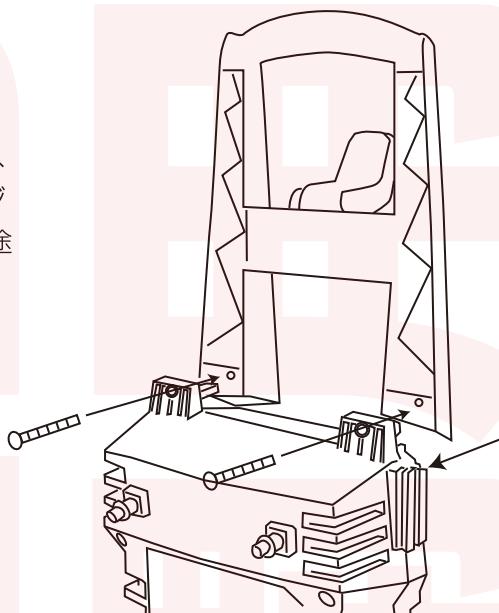
- ①水道ホースを本体に取り付けてください。
- ②トリガーガンと高圧洗浄ホースを取り付けてください。
- ③高圧洗浄ホースを本体に取り付けてください。
- ④水道栓を開けてください。
- ⑤トリガーガンのトリガーを握り水がスムーズに出ることを確認してください。
- ⑥トリガーガンのトリガーを離した後作業手順に準じ洗浄をおこなってください。

ポンプ凍結防止方法

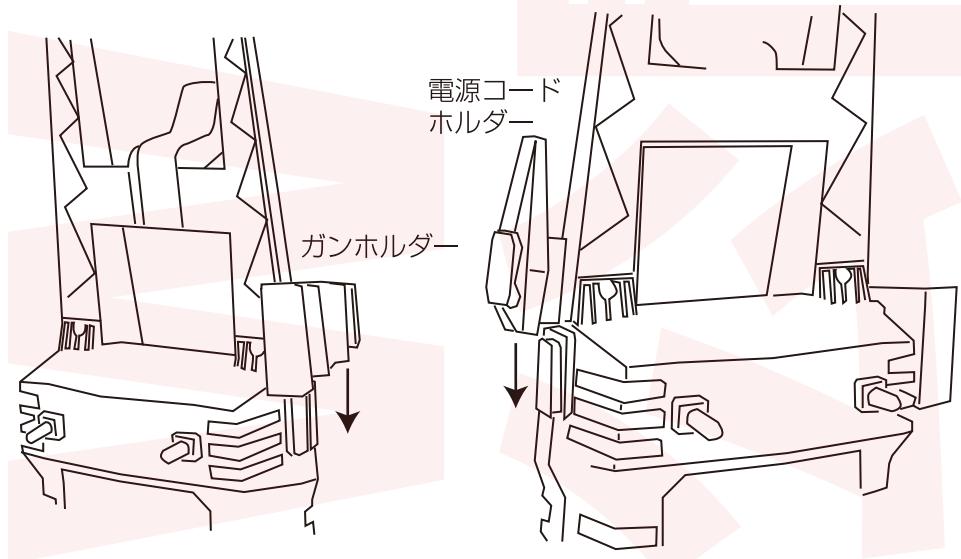
- ①手順に従ってポンプの残水を抜いてください。
- ②本体の吸水口を上に向け、凍結防止用ウインドウオッシャー液（市販）を注入します。
- ③電源を入れ、高圧ホース接続口よりウォッシャー液が出るまで本体を動かします。※ウォッシャー液が飛び出しますのでご注意ください。
- ④電源を切り、本体を凍結しない場所に保管してください。

本体の組み立て

- ①本体上部の持ち手部分を本体にスライドさせて取り付け、付属のネジで2か所をプラスドライバー（別途ご用意下さい）で固定します。

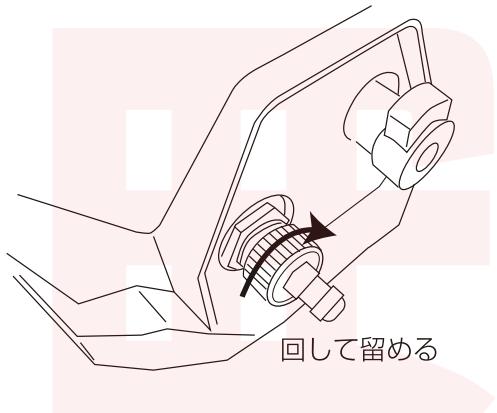


- ②ガンホルダー、電源コードホルダーを上からスライドさせて差し込みます。

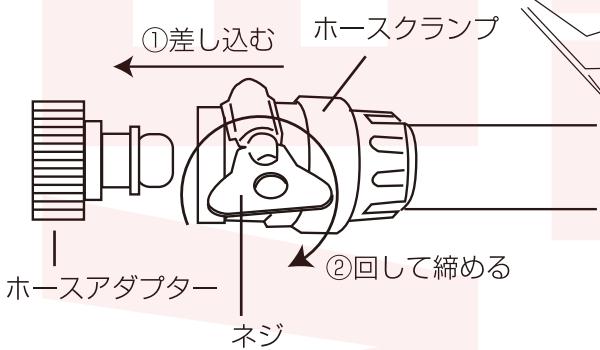


トリガーガンの使い方

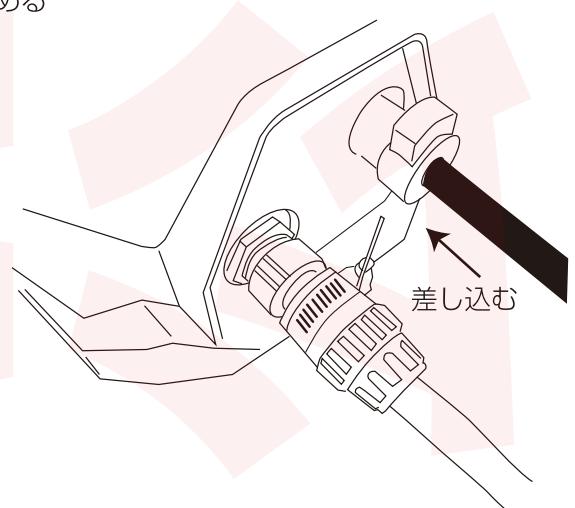
- ①本体ホース取付口にホースアダプターを取り付けます。右図を参考にネジのように回します。



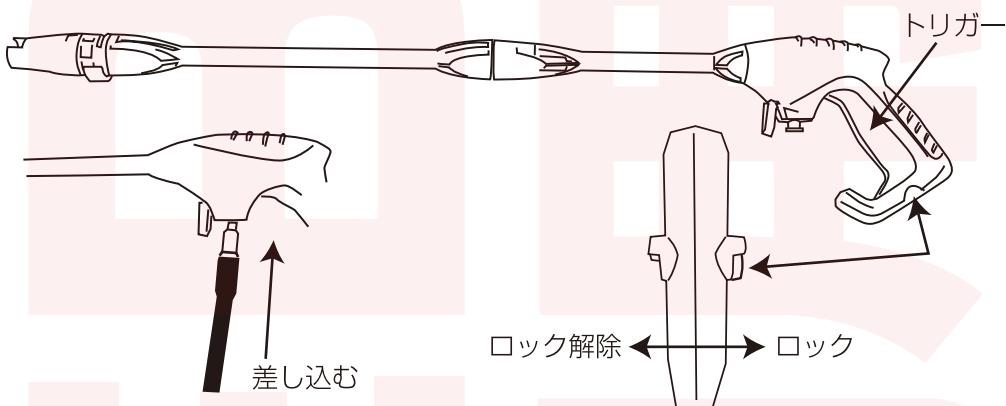
- ②ホースクランプの付いたホースをホースアダプタに奥まで差し込みます。ホースクランプをネジで締め付けでしっかりと固定します。



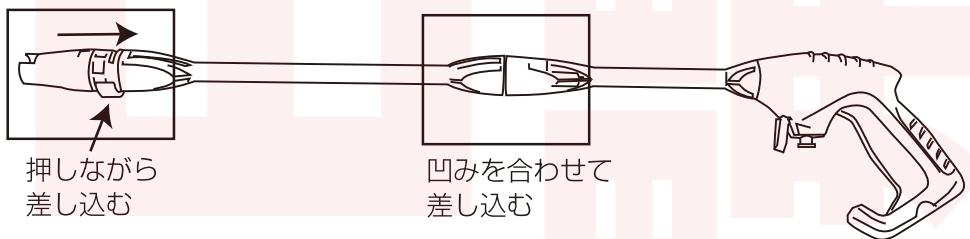
- ③トリガーガン用の高圧洗浄ホースを取り付けます。奥まで差し込んで下さい。



④トリガーガンにはロック機能があります。ボタンを押してトリガーが引けないようにロックします。トリガーガンに高圧洗浄ホースを取りつけます。



⑤トリガーガンを組み立てます。各部にある凹みを合わせて取り付けます。

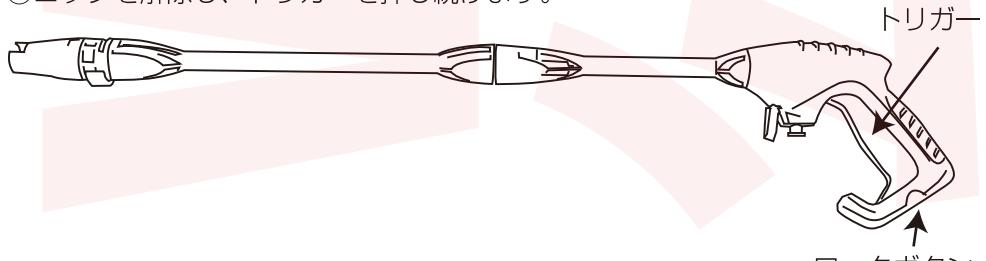


⑥電源コードをコンセントにさします。

⑦ホースを蛇口に取り付ける（取り付けのアダプターは付属しません）、または水を入れたバケツにホースの先を入れます。蛇口の場合は、開けておき水が出る状態にして下さい。

⑧トリガーガンをしっかりと両手で持ち、先を地面に向けます。

⑨ロックを解除し、トリガーを押し続けます。



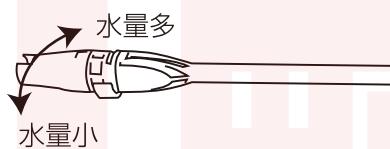
⑩スイッチを入れます。



⑪ホース内の空気が排出され、水がしっかりとでてくるまでトリガーを押し続けて下さい。水を入れたバケツにホースを入れていると、自動的に汲み上げます。

⑫トリガーを引きます。トリガーガンの先から水が出てきます。徐々に圧力が上がり、水の勢いが強くなります。洗浄したい場所に水をあてて下さい。

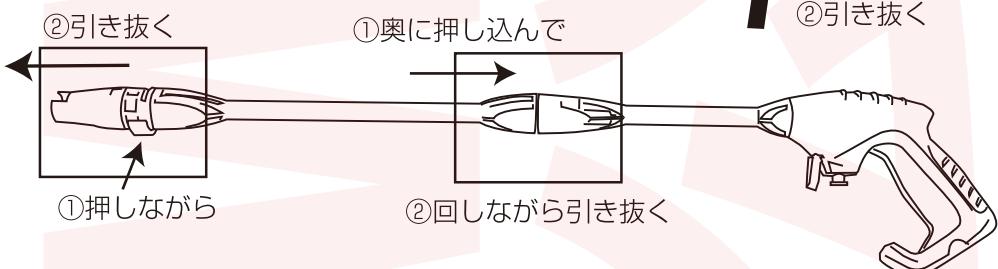
先端ノズルを回す事によって、水量を変える事ができます。



⑬使用後はスイッチを切り、コンセントを抜いて下さい。

トリガーガンの外し方

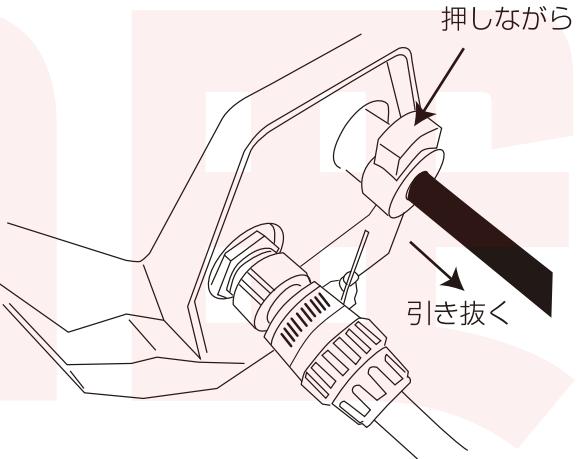
片付ける場合は、図を参考にトリガーガンを外してください。



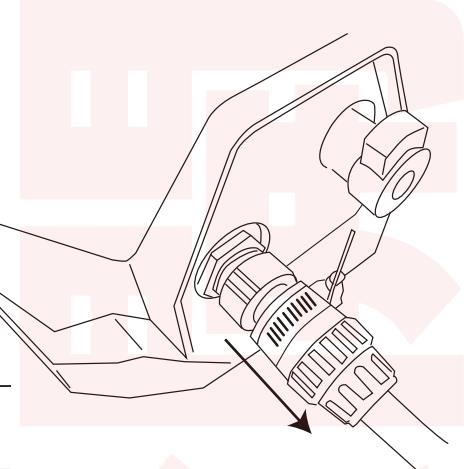
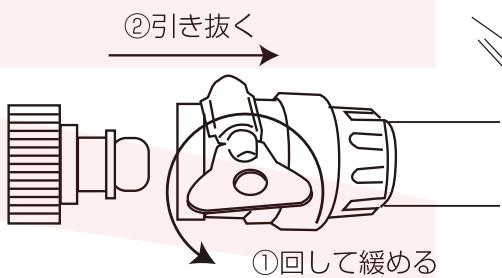
外した後は、本体のトリガーガンホルダーに差し込んで下さい。先端ノズルは本体後ろ側の突起に押し込んで固定することができます。

ホースの外し方

- ◆高圧洗浄ホースを外す場合
上のボタンを押しながら引き抜いて下さい。
本体から外さずに、高圧ホースホルダーに巻き付けておくことも出来ます。



- ◆ホースの外し方
①ホースクランプのネジを緩めます。
②ホースクランプをホースアダプタから引き抜いて外します。



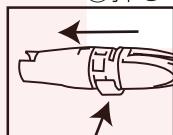
ホース内に水が残り、外した際に水がこぼれる可能性があります。濡れても大丈夫な場所で作業を行うなどして下さい。

ボトルの使い方

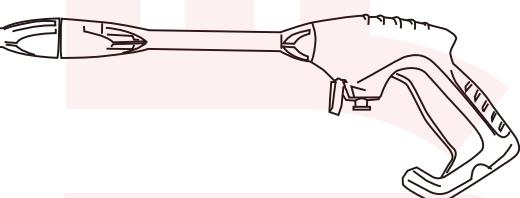
付属のボトルを使用することによって、洗剤を使いながら洗う事ができます。
※先端を取り換える場合は、必ずスイッチを切り、コンセントを抜いてから行って下さい。

①トリガーガンの先端を外します。

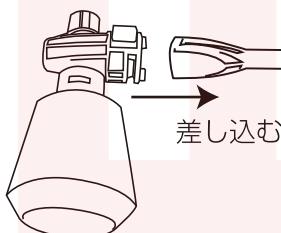
①押しながら



②引き抜く



②液体洗剤を入れたボトルをトリガーガンの先端に取り付けます。



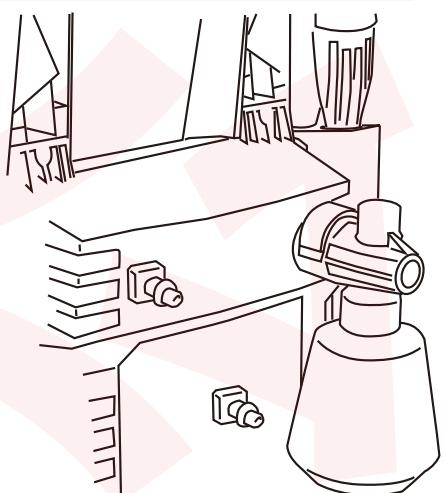
③スイッチを入れます。



④トリガーを引きます。トリガーガンの先から水とボトル内の液体洗剤が同時に排出されます。

⑤使用後はスイッチを切り、コンセントを抜いて下さい。

ボトルは本体後ろ側の突起に差し込んで固定する事ができます。

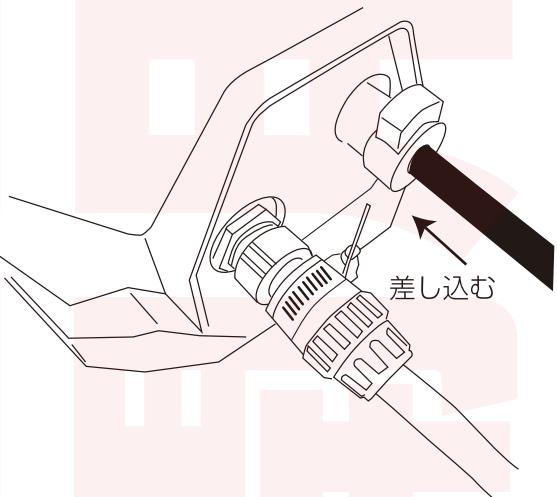


配管洗浄ホースの使い方

付属の配管洗浄ホースを使用することによって、配管内を洗浄する事が出来ます。

※ホースを取りつける場合は、必ずスイッチを切り、コンセントを抜いてから行って下さい。

- ①配管洗浄ホースを、高圧洗浄ホース取付口に差し込みます。ホースをしっかりと奥へと差し込んで下さい。



- ②スイッチを入れます。



- ③ホースから水がでます。配管内を水を排出しながら進みます。



後ろに水を出して、配管内を洗いながら水の勢いで奥に進みます

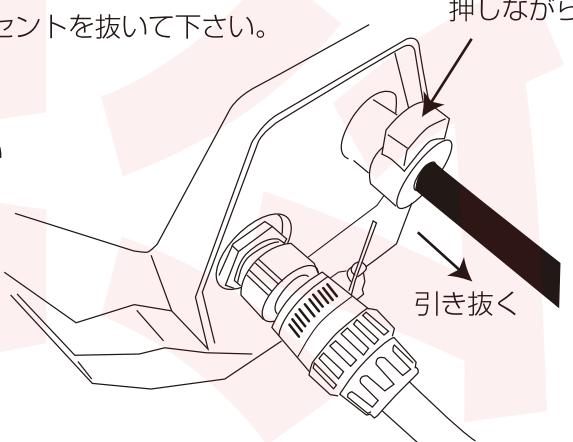
- ④使用後はスイッチを切り、コンセントを抜いて下さい。

◆配管洗浄ホースの外し方

上のボタンを押しながら引き抜いて下さい。

押しながら

引き抜く



製品仕様

| | |
|------------|---------------------------------------|
| サイズ | 700×310×250(mm) |
| 重量 | 6kg (ホース含まず) |
| セット内容 | 本体、ホース、配管洗浄ホース、ボトル、トリガーガン ホースアダプター |
| 最大排出圧力 | 10.5Mpa |
| 常用排出圧力 | 7Mpa |
| 最大吐出水量 | 6.8l/min |
| 常用排出水量 | 5.5l/min |
| 出力 | 1350W 14A |
| 定格電圧 / 周波数 | 100V 50Hz/60Hz |
| 定格電流 | 14A |
| 給水温度 | 5～60 度 |
| 防水性能 | IPX5 |
| 保証期間 | 12 カ月 |

サポートのご案内

■修理のご案内

動作しない、お買い上げ時から問題が発生しているなどの場合は、ご連絡不要にて対応をさせて頂きます。
症状を記載したメモ、購入日が確認できる納品書やレシート、商品を下記住所までご送付ください（お届け日より 1 週間以内の場合は、初期不良として扱いにてご送付いただけます）

ご質問が多い内容については、Q&A ページを記載している場合がございます。また新しいマニュアルを公開している場合がございます。(PC サイトのみ)

<http://www.thanko.jp/support/download.html>

Q & A ページ

<http://www.thanko.jp/support/qa.html>

■メールでのお問合せ

お客様の御名前、商品名、お問合せ内容を記載し、下記アドレスまでご連絡下さい。(マイクロソフト、Yahoo、携帯メールアドレスでは返信できない場合があります)

※使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷に関してはサポート外となります。

サンコーカスタマサポート(修理品の送付先)

〒101-0021

東京都千代田区外神田4-9-8 神田石川ビル4階

(月～金 10:00-12:00、13:00-18:00 土日祝日を除く)